

# (中山間地域等における生活の見守りサービスの創出)

✓遠隔医療における医師間の責任分界及び診療報酬のあり方の整理

## バイタル等情報収集・遠隔支援による見守り

### 糖尿病等の患者

- バイタルデータを随時医師等へ自動的に送信
- 医者は異常値を早期に発見

### 地域の住民

- けが・病気などの緊急時にテレビ電話を用いて医師から支援を受ける

## ライブ遠隔監視による見守り

### 独居高齢者

- 住居に赤外線センサーを設置し生活を見守る
- 異常時には自動通報し民生委員等がかけつける



医師、看護師、ヘルパー  
民生委員等 の派遣

看護師、ヘルパー  
民生委員等 の派遣

適切な  
配食サービス等

見守り  
情報共有システム  
@病院

介護事業者等

病院

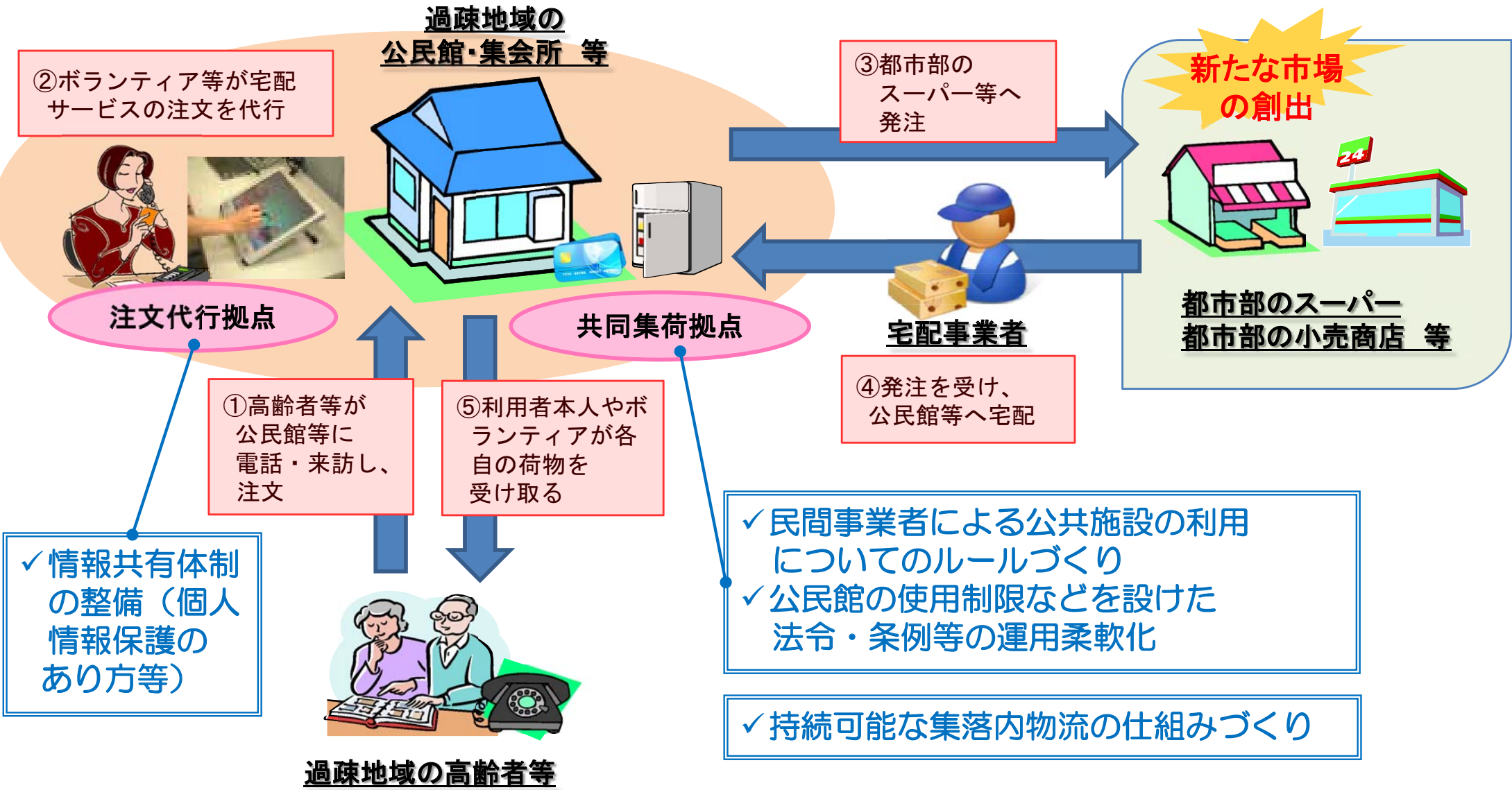
自治体

サービス  
事業者

✓事業継続性を確保するための費用負担等のビジネスモデルの策定

✓多職種間での情報共有の基盤整備（プライバシー、セキュリティ、情報閲覧権限の策定）

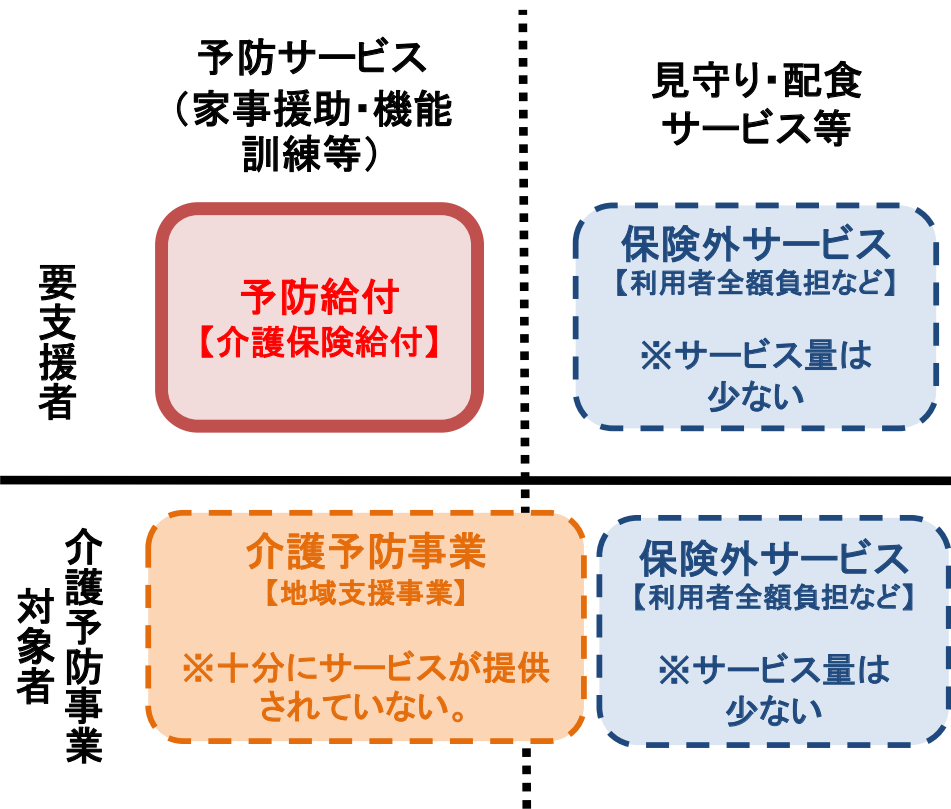
# (過疎地域における買い物等支援サービス)



# 軽度者に対する予防・生活支援のための総合的なサービスのイメージ

- 保険者の判断により、地域支援事業を活用して、見守り・配食サービス等も含めた、要支援者・介護予防事業対象者向けの予防・生活支援のための総合的なサービスを実施できるようにする。
- これにより、財源の効率的な活用を図りつつ、状態像に応じて、軽度者の生活を支えるための総合的なサービス提供が可能になる。

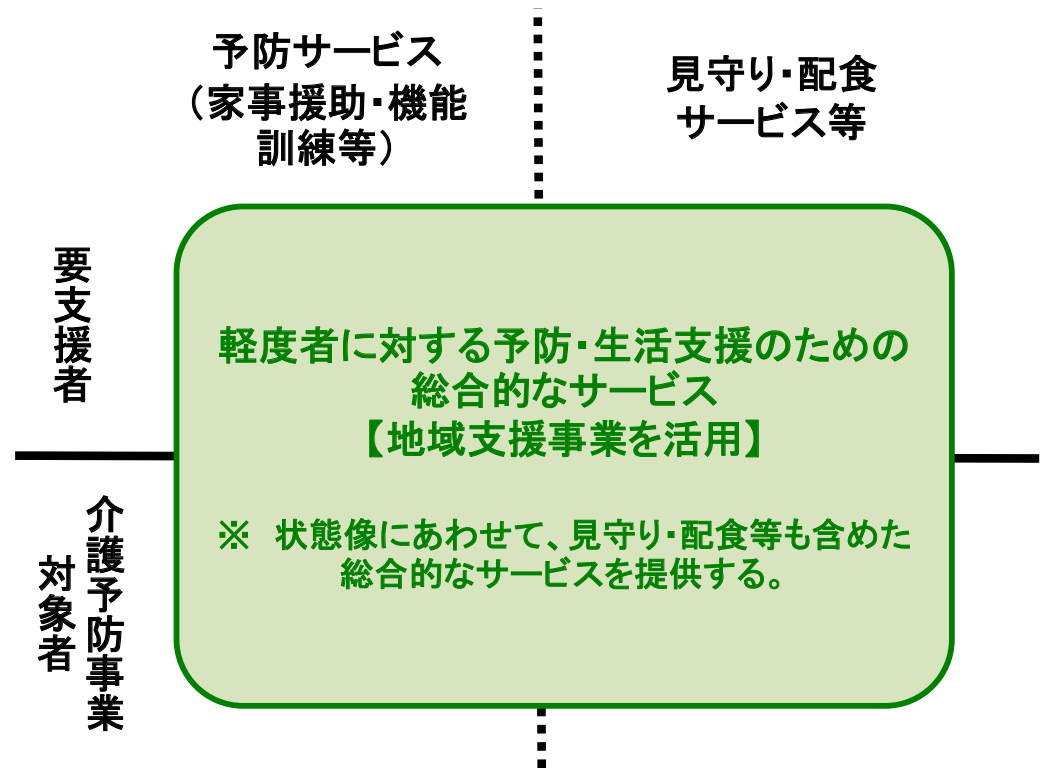
## 現状



- 要支援者に対しては、見守り・配食サービス等も含めた、生活を支えるための総合的なサービスが提供できていない。
- 介護予防事業対象者については、提供されるサービス量が少ない。このため、予防に向けた取組も進みにくい(要支援状態から改善すると、サービスが減少してしまうため)。

## 総合的なサービス創設後

※ 保険者の判断により実施可能なこととする。



- 状態像にあわせ、見守り・配食等も含めて、生活を支えるための総合的なサービス提供が可能。